

令和 8 年度事業計画

以下を基本方針として、「聖地リゾート！和歌山」をキャッチフレーズに、各種施策を展開する。

○ 「稼ぐ」観光の推進

戦略的なプロモーションと高付加価値化を推進し、来訪者数の増加に加えて滞在期間の延長や消費単価の向上を図ることで、観光消費額を拡大し、観光収益が地域内で循環する持続可能な活性化を目指す。

○ 地域が一体となった観光地域づくり

人材育成や組織体制の強化、受入環境整備を通じて、観光の恩恵を地域全体で享受できる観光地域づくりを目指す。

○ 持続的な保全と活用

自然・景観・歴史文化資源の適切な保全と観光資源としての活用を両立させ、持続可能な観光地の実現を目指す。

「稼ぐ」観光の推進

- ・国内誘客プロモーション
- ・海外誘客プロモーション
- ・観光産業投資の促進
- ・観光情報基盤の強化

地域が一体となった観光地域づくり

- ・観光人材の育成
- ・地域ストーリーを活かした観光振興
- ・観光地域づくり組織への支援
- ・受入環境整備
- ・熊野白浜リゾート空港の活用

持続的な保全と活用

- ・観光資源の保全と活用

< 令和 8 年度事業における特記事項 >

別紙①

- 観光人材育成のための研修
- 観光客データ収集及び分析

事業計画（概要）

* 各事業の事業費は、人件費・減価償却費を除く

（単位：千円）

事業実施内容	R8予算額
（１）観光情報発信	91,634
① 国内オウンドメディア	38,231
② 国内外部メディア	46,203
③ 海外プロモーション	6,000
④ フィルムコミッション	1,200
（２）展示会・講座・イベント	22,984
① ツーリズムEXPO	14,150
② 首都圏セミナー等	5,300
③ 各種イベントへの出展	3,534
（３）旅行商品造成支援	8,838
① 下見支援およびバスツアー助成	4,400
② 旅行会社向け商談会及びファムツアー	3,838
③ 主要都市プロモーション	500
④ 体験メニューの造成および利用促進	100
（４）団体誘致活動	12,330
① MICE誘致	7,900
② 教育旅行誘致	2,000
③ 年金旅行誘致	330
④ スポーツ合宿誘致	100
⑤ クルーズ客船誘致	2,000
（５）観光人材育成	2,000
① 語り部スキルアップ研修等	1,000
② 観光人材育成のための研修	1,000
（６）観光客データ収集及び分析	13,124
（７）本部、観光センター運営等	24,238
合 計	175,148

令和 8 年度 事業計画（明細）

* 各事業の事業費は、人件費・減価償却費を除く

（１）観光情報発信

（91,634 千円）

① 国内オウンドメディア

公式観光サイトの運営及びコンテンツの充実、観光情報誌の発行や SNS の活用を行い、各媒体の特性を活かし、温泉・グルメ・体験・大河ドラマ関連などの観光素材および旬の観光情報を発信する。

② 国内外部メディア

国内各種メディア（雑誌、WEB、交通広告、インフルエンサー等）とのタイアップや取材協力、首都圏メディア関係者を対象としたファンミーティング・記者取材会等を実施し、各ターゲット層へ観光情報や観光素材を発信する。

③ 海外プロモーション

海外現地セールスや見本市への出展及びこれまでのコネクションを活用することで、欧米豪を中心とした海外メディアでの情報発信や、海外旅行会社での送客促進を実施する。

④ フィルムコミッション

ジャパン・フィルムコミッションや長年培った本県独自のネットワークを活用し、首都圏等の業界関係者に強く働きかけるとともに、ロケハンやロケの受入をきめ細やかに行い、映画やテレビ番組等を誘致し、映像を通じた魅力発信や認知度向上を図る。

（２）展示会・講座・イベント

（22,984 千円）

① ツーリズム EXPO

国内最大級の総合観光展示会に県内団体と共同出展し、首都圏の旅行会社などをメインターゲットとした商談会及び旅行者向け PR を実施し、本県の観光情報を発信する。

② 首都圏セミナー等

メディアや旅行会社、企業等と連携し、首都圏の方を対象とした和歌山県の魅力を効果的に発信する誘客促進プロモーション等を実施し、地域ブランドの向上に寄与する連携事業を展開する。

③ 各種イベントへの出展

「アウトドアフェス」「サイクルモードライド大阪」「お城 EXPO」「TRAVEL LAND」等各地で開催される各種イベントに出展し、本県の観光素材やモデルコースを PR する。

(3) 旅行商品造成支援

(8,838 千円)

① 下見支援およびバスツアー助成

旅行会社に対して、旅行商品造成に係る経費（下見支援金）の助成を実施する。また、閑散期に貸切バスを利用する団体旅行商品のうち、NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟！」ゆかりの地等や、県内有料施設を利用するものに対する助成制度を設け、本県への観光誘客の拡大を図る。

② 旅行会社向け商談会及びファムツアー

全国旅行業協会都道府県支部等、旅行会社で組織される団体と連携し、和歌山県の観光素材を情報発信する。首都圏・中京圏において、旅行会社を招いた商談会を開催し、連盟会員をはじめとした県内市町村及び観光関連事業者の営業機会の創出を図る。また、首都圏においては、日本旅行業協会加盟の首都圏旅行会社企画担当者を対象としたファムツアーを実施し、旅行商品の造成と誘客促進につなげる。

③ 主要都市プロモーション

各都市圏主要旅行会社への観光素材提案を行い、商品造成を促進する。

④ 体験メニューの造成および利用促進

県公式観光サイトにおいて、特集・モデルコースで県内体験商品の情報発信・オンライン予約への誘導を行うとともに、観光客の利用促進を図る。

(4) 団体誘致活動

(12,330 千円)

① MICE 誘致

MICE 主催者への各種支援（開催・エクスカーション助成、視察助成等）を行うとともに、MICE に関する商談会・ワークショップへの出展による誘致活動を実施する。

② 教育旅行誘致

「ほんまもん体験」や「民泊」をはじめ「世界遺産の保全活動（道普請）」「世界農業遺産」・「防災学習」など本県ならではの総合的な学習（探究）が出来る教育プログラムを、旅行会社や学校に直接訪問提案するとともに、下

見支援等受入環境を充実させ誘致する。

③ 年金旅行誘致

信用金庫業界における年金旅行の誘致を図るため、旅行会社への訪問等を通じた下見を促進するとともに、ツアーに対する経費助成等を行う。

④ スポーツ合宿誘致

県内のスポーツ施設情報を公式観光サイトで発信するとともに、旅行会社等へ情報提供を行い、スポーツ合宿の誘致を図る。

⑤ クルーズ客船誘致

国内外の船社訪問や見本市への出展及びファムツアーの受け入れなどを一貫して実施することにより、船社との継続的な関係性を築き、クルーズ客船を誘致する。

(5) 人材育成

(2,000 千円)

① 語り部スキルアップ研修

紀州語り部のスキルアップ向上を促す研修会等の開催や、語り部が独自で行う研修会へ支援を行うとともに、語り部が案内するウォーク情報を、LINE登録者へ随時配信し誘客につなげる。

② 観光人材育成のための研修

高付加価値な観光サービスを提供できる実務人材や次世代人材など観光産業人材育成のための研修等を開催する。

(6) 観光客調査及び経済波及効果推計業務

(13,124 千円)

県や県内地域 DMO と連携し、観光客のデータの収集・集計・分析及び経済波及効果の推計を行う。

(7) 本部、観光センター運営等

(24,238 千円)

観光連盟本部、東京観光センター、名古屋観光センターの運営を行う。また、公益社団法人日本観光振興協会や近畿府県観光連盟と連携し、広域観光振興を推進する。

観光人材育成

観光連盟は都道府県 DMO として、県や市町村、地域 DMO、観光協会、観光事業者等と連携しながら、持続可能な観光地域の実現をめざすため、観光地域づくりを支える観光地経営人材及び観光事業者などに対して求められる知識やスキル等を身につけるための研修を開催

1. 語り部スキルアップ研修

- ・紀州語り部のスキルアップ向上を促す研修会等の開催
- ・語り部の会独自で行う研修会への支援

2. 県内 DMO 勉強会と意見交換会

3. 観光人材育成のための研修

目 的：高付加価値な観光サービスを提供できる実務や次世代を担う観光地経営人材及び観光事業者などの育成のため

対 象：地域 DMO、観光協会、観光関連事業者、自治体等

テーマ例：観光地域プロモーション、AI・SNS 活用、ロケ誘致（フィルムコミッション）等

観光客データ収集及び分析

令和7年3月に、観光庁の「観光地域づくり法人(DMO)登録制度に関するガイドライン」が改正され、DMO登録要件の見直し事項に観光地経営における客観的なデータの取得、分析、評価を行う科学的アプローチの強化が求められているため、観光連盟では、独自のアンケート調査の実施及び県観光動態調査のデータ等を用いた経済波及効果算出と併せて、得られたデータの分析を行い、観光客のニーズに応じた適時的確なプロモーションに活用

概 要

調査方法：観光客の動向（属性・目的・消費活動・再訪意向度・リピーター率・満足度等）のアンケート調査（調査項目）

基本情報（年齢・性別・住所・職業等）／旅行概要（目的・人数・日数・交通手段等）／訪問場所／消費額／観光情報の取得先／満足度 など